



第116期 中間報告書

平成28年4月1日 ▶ 平成28年9月30日

株主の皆さまへ

株主の皆さまには、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
当社第116期上半期（2016年4月1日から2016年9月30日まで）の概況についてご報告申し上げます。

■当社を取り巻く情勢と業績

本年度上半期の世界経済は、全体としては緩やかな回復基調が続いているものの、中国やアジア新興国に弱さもみられました。米国では個人消費を背景とした内需主導により堅調さが持続し、欧州では英国のEU離脱問題の影響が懸念されたものの、景気は緩やかに推移しました。日本では円高や新興国経済が減速した影響などから輸出・生産面に鈍さがみられ、経済状況は低調な展開となりました。

主要地域の新車販売台数は、米国では高い購買意欲により、また欧州では低金利自動車ローン等が後押しし、中国でも小型車減税の効果が続いていることにより、それぞれ前年同期を上回りました。一方、日本では熊本で発生した震災や一部の完成車メーカーの燃費法令違反による生産停止等の影響から、前年同期を下回りました。

こうした状況のもと、当社グループの上半期の業績は、連結売上高4,741億円、連結営業利益は185億6千万円と前年同期と比較して減収増益となりました。

■競争力強化に向けた取り組み

今後の世界経済は緩やかな回復が続くことが期待されるものの、中国やアジア新興国等の経済の先行き不安に加え、英国のEU離脱問題に伴う不透明感の影響等がリスクとして懸念されます。また、安定さを欠いた為替変動が日本経済に大きな影響を及ぼすことも考えられます。

当社は現在までに16か国で78の生産拠点を構築しており、その中で各地域の状況に応じた生産分担の最適化や設計の現地化、部品の現地調達化を進め、急激な為替変動の影響を受けに

くい体制を構築してまいりました。

また、今年度は6年間にわたった中期経営計画「CK G×4 T10」の仕上げの年であり、これまでに予定した方策を確実に実行し、着々と成果を上げてまいりました。売上高目標は1兆円を掲げておりましたが、それを昨年度のうちに達成することができ、またガソリンエンジン用のEGRクーラーや射出成型表皮インスツルメントパネルを皮切りに、高性能薄型ビルトインオイルクーラー/ウォーマーなど目標に掲げた10の環境対応型製品を開発・市場投入し、売上の拡大に大きく貢献しております。

今年度は7%の付加価値営業利益率をめざすとともに、その先に向けた基盤固めの年として活動しております。今後も革新的な技術を生み出し製品競争力を高め、「Great Company」として世界トップレベルのサプライヤーをめざしてまいります。

なお、当期の中間配当につきましては、当上半期の堅調な業績に応じた株主還元を図るため、前期末配当から1株につき2円50銭増配の7円50銭とし、そのお支払いを12月1日からとさせていただきます。

株主の皆さまにおかれましては、今後ともより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長

森谷 弘史

上半期の業績（連結）

売上高

(単位：億円)



営業利益

(単位：億円)



経常利益

(単位：億円)



親会社株主に帰属する四半期純利益

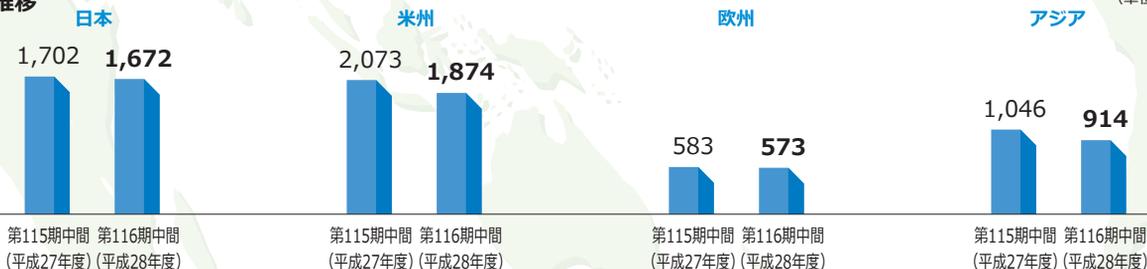
(単位：億円)



地域別状況

売上高推移

(単位：億円)



営業利益推移

(単位：億円)



連結貸借対照表 (要旨)

(単位:百万円)

科目	前期末	当第2四半期
資産の部		
流動資産	282,477	281,609
固定資産	156,129	141,057
有形固定資産	133,861	119,374
無形固定資産	7,429	7,429
投資その他の資産	14,839	14,253
資産合計	438,606	422,667
負債の部		
流動負債	190,763	182,047
固定負債	31,159	28,510
負債合計	221,923	210,558
純資産の部		
株主資本	217,890	229,009
その他の包括利益累計額	△14,049	△29,615
非支配株主持分	12,842	12,714
純資産合計	216,683	212,108
負債・純資産合計	438,606	422,667

(注) 記載金額については、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書 (要旨)

(単位:百万円)

科目	前第2四半期	当第2四半期
売上高	507,292	474,197
売上原価	464,944	430,510
売上総利益	42,348	43,686
営業利益	16,947	18,562
営業外収益	2,699	3,303
営業外費用	1,484	3,134
経常利益	18,162	18,731
特別利益	28	27
特別損失	349	218
税金等調整前四半期純利益	17,841	18,539
四半期純利益	11,812	12,763
非支配株主に帰属する四半期純利益	292	299
親会社株主に帰属する四半期純利益	11,519	12,463

(注) 記載金額については、百万円未満を切り捨てて表示しております。

Topics

「人とくるまのテクノロジー展2016」に出展

昨年に続き、今年5月に横浜で開催された「人とくるまのテクノロジー展2016」に出展しました。

当社は『グローバルな自動車関連企業として、世界をリードする技術革新とものづくりに情熱を持って取り組み、持続可能な社会の実現に貢献すること』というビジョンのもと、製品・技術開発を進めています。今年は「Green & Comfort」という2つのテーマを具体化したシステムソリューションを展示し、環境と快適の両立を実現する当社の取り組みを紹介しました。



当社の出展ブース

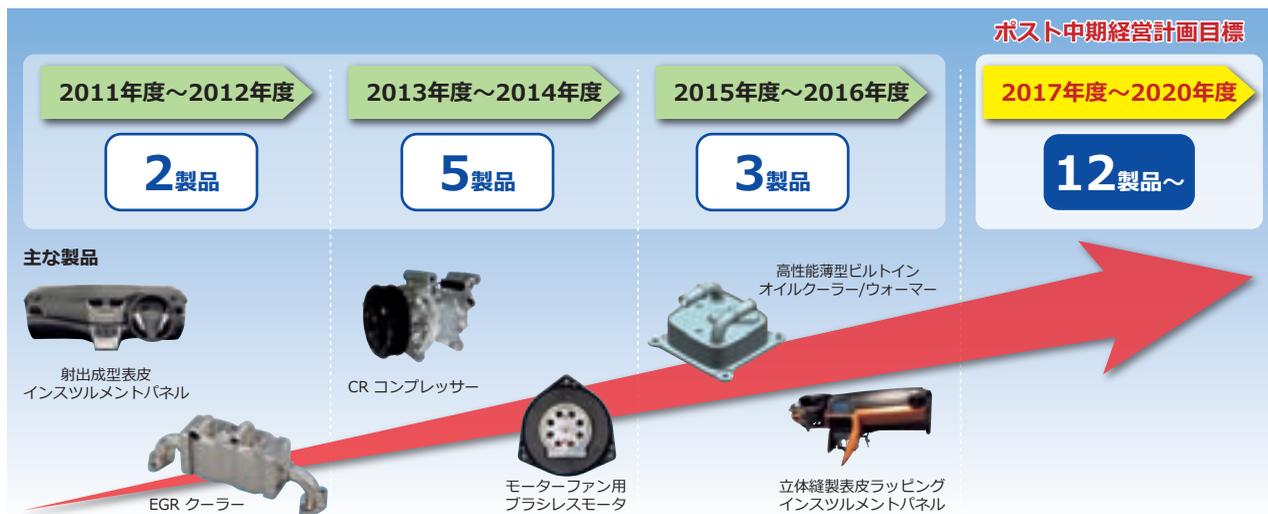
「カルソニックIMPUL GT-R」がSUPER GTレース第5戦で優勝



当社は有限会社ホシノレーシングが参戦しているSUPER GTレースにおいて、同社チームのメインスポンサーとなっています。今年8月に富士スピードウェイ（静岡県小山町）で開催されたSUPER GTレース第5戦で、同社チームの「カルソニックIMPUL GT-R」が優勝しました。当社グループは世界の至るところで活躍する自動車の部品を供給し、安全・安心を提供する責任があります。モータースポーツへの製品供給を行なうことにより、レースという極限状態での使用にも耐え、過酷な環境下でも製品を常に正常に機能するためのさまざまな技術的工夫や課題をレースを通じて検証しています。

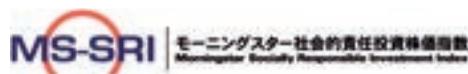
世界をリードする環境対応型製品を10製品創出

今後も省燃費や軽量化など、さまざまな切り口から「グリーンな社会づくりに貢献する、世界最先端のモノづくり」に取り組んでいきます。



JPX日経インデックス400は、資本の効率的活用や投資者を意識した経営観点など、グローバルな投資基準に求められる諸要件を満たした、「投資者にとって投資魅力の高い会社」で構成される新しい株価指数です。株式会社日本取引所グループ/株式会社東京証券取引所および株式会社日本経済新聞社が選定します。

当社は2014年度から引き続き2016年度も構成銘柄に選定されました。



「モーニングスター社会的責任投資株価指数」は、モーニングスター株式会社が国内上場企業の中から社会性に優れた企業として評価する150社を選定し、その株価を指数化した国内初の社会的責任投資株価指数です。

当社は2016年1月4日付で構成銘柄に組み入れられました。

株式の状況

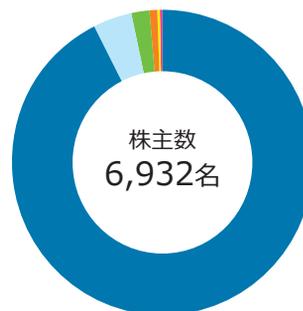
発行可能株式総数・・・・・・・・・・ 600,000,000株
 発行済株式の総数・・・・・・・・・・ 273,241,631株
 (自己株式5,359,354株を含む)
 株主数・・・・・・・・・・ 6,932名

大株主

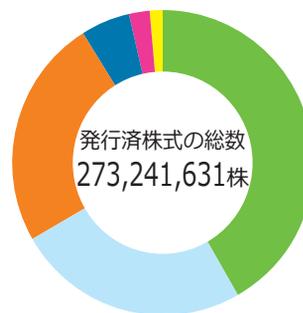
株主名	持株数	持株比率
	(千株)	(%)
日産自動車株式会社	111,163	41.5
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	10,282	3.8
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	10,177	3.8
全国共済農業協同組合連合会	7,304	2.7
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	5,578	2.0
日本生命保険相互会社	5,462	2.0
ゴールドマン・サックス・アンド・ カンパニー レギュラーアカウント	4,391	1.6
CBNY-GOVERNMENT OF NORWAY	4,286	1.6
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口9)	4,143	1.5
ゴールドマンサックス インターナショナル	3,254	1.2

(注) 1. 株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
 2. 持株比率は自己株式を除いて計算しております。
 3. 当社は自己株式5,359千株を保有しておりますが、上記大株主から除外しております。

株式分布状況



■個人・その他 6,412名 (92.50%)
 ■外国人 289名 (4.17%)
 ■その他国内法人 146名 (2.11%)
 ■金融機関 50名 (0.72%)
 ■証券会社 34名 (0.49%)
 ■自己名義株式 1名 (0.01%)



■その他国内法人 114,049,912株 (41.74%)
 ■外国人 68,574,986株 (25.10%)
 ■金融機関 66,688,742株 (24.40%)
 ■個人・その他 14,803,783株 (5.42%)
 ■自己名義株式 5,359,354株 (1.96%)
 ■証券会社 3,764,854株 (1.38%)

会社の概要

会社名称	カルソニックカンセイ株式会社
本社所在地	埼玉県さいたま市北区日進町二丁目1917番地
資本金	414億5,624万円(平成28年9月30日現在)
主な拠点所在国	アメリカ、メキシコ、ブラジル、イギリス、スペイン、フランス、ドイツ、ルーマニア、ロシア、中国、マレーシア、韓国、タイ、インド
主要な製品	コックピットモジュール、フロントエンドモジュール、エキゾーストシステム、エアコンユニット、コンプレッサー、メーター、ラジエーター
グループ会社数	連結：34社 持分法：15社
主なお客さま	アウディ社、いすゞ自動車株式会社、オペル社、サブ社、GM社、スズキ株式会社、タイムラー社、日産自動車株式会社、BMW社、プジョー社、フォード社、フォルクスワーゲン社、富士重工業株式会社、本田技研工業株式会社、マツダ株式会社、三菱自動車工業株式会社、UDトラックス株式会社、ランドローバー社、ルノー社(五十音順)

取締役および監査役

代表取締役社長	森 谷 弘 史	常勤監査役(社外・独立)	根 岸 一 郎
取締役	柿 沢 誠 一	常 勤 監 査 役	古 川 浩 治
取締役	藤 崎 彰	監 査 役	安 達 凡 考
取締役(社外・独立)	高 松 則 雄	監査役(社外・独立)	梅 木 裕 世
取締役(社外・独立)	村 田 恵 一		

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	定時株主総会・期末配当：3月31日 中間配当：9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031(フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。
単元株式数	1,000株
証券コード	7248
公告方法	電子公告により行います。 公告掲載ホームページ http://www.calsonickansei.co.jp/ 但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

「配当金計算書」について

配当金支払いの際にご送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。

なお、配当金領収証にて配当金をお受け取りの株主様につきましても、配当金支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。

*確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。

